RT510・RT530 シリーズ　SD版

メモリカード取扱上の注意およびカード交換説明書

お使いになる前に必ずお読み下さい

◆はじめに

このたびは RT500 シリーズをお買い上げいただきありがとうございました。

本シリーズは、現場でのデータ回収作業の改善を図ることをコンセプトに、記録データの保存媒体にメモリカード（SD カード）を採用致しました。現場でのデータ回収作業が大幅に短縮改善されますが、電子精密部品であり細心の注意が必要となります。大切な観測データを正しく回収するために、必ず本説明書をお読みいただくようにお願い致します。

◆　回収時、安全に利用いただくために

注意

- カードは正しい向きに、下まで完全に差し込んでください。
- カードフォーマットは必ず利用する RT 本体で行ってください。パソコンでフォーマットをした場合、使用できなくなる場合があります。
  フォーマット処理時間は、64MB で約 50 秒、
  1GB で約 100 秒掛かります。
- RT で使用できるカードは 1GB まで、記録可能な容量は最大で 256MB となります。
- **SDHC 仕様のカードは RT では認識できません。**また、カードのロックキーも認識できません。
- カードは定期的に交換を行い、データは他の記録媒体にバックアップされることをお薦めします。
- カードスロット部にゴミ、粉塵などが入らないように注意下さい。
- カードは必ず付属のケースに入れて保管ください。
- カード面に地点名などラベルを貼り付ける場合は、薄手のテプラなどで差込に無理がないよう注意下さい。

禁止

- 本体カードアクセスランプが点灯時は絶対に抜き差ししないで下さい。データ消失ならびにカード破損となります。
- カード電極部に直接触れないようにしてください。静電気によりカードが破壊される恐れがあります。カード取扱前に金属などに触れて静電気を除去してから作業を行ってください。
- カード面に厚手のラベル、シールを貼り付けないで下さい。カードスロットに無理に差し込むと接触不良の要因になります。
- 電極部のクリーニングは乾いた柔らかい布で拭いてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー系など溶剤系の使用は絶対に避けてください。

◆カードリーダ使用時

- カードリーダにカードを挿入したままパソコンを起動しないで下さい。パソコンが正常起動しなかったり、カードが壊れる恐れがあります。
- カードリーダが動作中、アクセス中はパソコンの電源を切ったり、カードを抜いたりしないで下さい。カードの破壊、データが消失する恐れがあります。
- カードを取り出すときは、カードリーダが動作していないことを確認して引き出してください。WindowsXP の場合は、リムーバブルアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてからカードを抜いてください。（※外部接続カードリーダ使用時）

◆設置時の注意

- 多湿環境で使用する場合は、RT 本体内部に乾燥剤を入れ、定期的な交換を行ってください。
- 直射日光の当たる場所など高温環境下に設置する場合は、機器収納キャビネットに温度対策をして設置下さい。
- 腐食性ガス雰囲気場所への設置は避けてください。

推奨 SD
サンディスク社

下まで差し込む

カードの向き
RT510

カードの向き
RT530

電極を手で触る

ラベル全面
貼り付け禁止

◆　データの回復作業について

カードが正常動作しなくなった場合は、担当営業までご連絡下さい。状況により修復可能な場合もありますので、詳細はお問い合わせ下さい。

以上

カード交換手順（SD）

■ データ回収作業の前に

- 静電気の影響を排除する為、あらかじめ金属製のものに触れて逃して下さい。
- インターバル時刻までの時間を確認してください。

1、電源投入（スリープ状態から起動する）

Power を押し、ピーと鳴ったら Menu を押し、自記計測を中止する。

続けて Current を押し、現在値を表示して正常動作の確認する。

2、電源を切る

Power を**長押し（3秒間）**、「ピッ！」と音が鳴り、画面の表示が消えたら、ボタンを離して下さい

3、カード交換

◆セットされている SD カードを押し、押し上げられたカードを抜き取る。

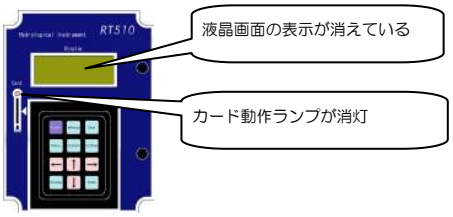
◆交換用カードの向きを確認して、スロットに下まで挿入する
（カードのラベル面を△に合わす。右写真）

4、 計測の開始

Power を押し、ピーと鳴ったら Menu、Current を押し、現在値を再度確認する。

測定条件、時刻の変更が無ければ、Start を押す。
カードスロットのアクセスランプが点滅して、右画面の表示の後、順に画面が切り替わり、計測／記録を行い、画面が消えてスリープ状態になります。最後まで確認してください。

スリープ状態



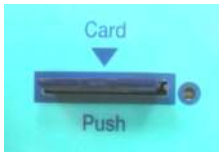
現在値表示

```
2011/04/01   14:12:12
WL:02.00     BT:5.5
```

カードの向き

RT510

RT530



完全に下まで差し込む

アクセスランプ点滅中

```
Getting  Ready  for
The Measurment.
  Go to sleep・・
  Next  ＊＊＊＊＊
```

測定条件・時刻修正操作は本体取扱説明書をご覧下さい。

記載内容は予告なく変更することがありますので予めご了承下さい。

株式会社 東建エンジニアリング　本社　埼玉県さいたま市大宮区東町 1-36-1

お問い合わせ先
本社　調査観測部　TEL 048-657-3518
名古屋支社　TEL 052-324-8181
九州サービスセンタ　TEL 092-437-4577

http://www.tohkeneng.jp